



BML

株主のみなさまへ
第55期 中間報告書

(2009年4月1日～2009年9月30日)

株式会社ビー・エム・エル

証券コード：4694

BML第4次中期経営計画

BML ADVANCE-2012 (2009/4~2012/3)

目次

株主のみなさまへ……………	1
営業の概況……………	2
株主様アンケート	
集計結果のご報告……………	4
故 荒井元義会長	
「お別れの会」……………	5
連結財務諸表……………	6
財務ハイライト……………	8
株式の概況及び会社概要…	9

事業基盤再構築

～ 持続的成長のために～

戦略基本コンセプト

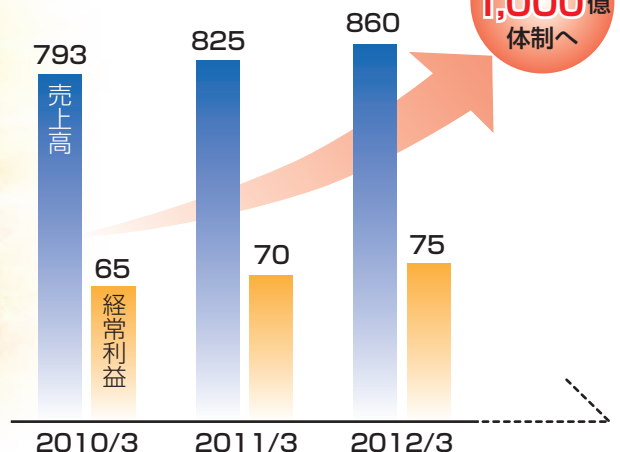
品質向上

サービスの向上・顧客指向

営業力の強化

ローコスト体制

[単位：億円]



業績予想につきましては、11月12日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

株主のみなさまへ



代表取締役社長
荒井 裕(あらい ゆたか)

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第55期第2四半期会計期間(2009年4月1日～9月30日)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

医療を取り巻く環境は、医療従事者の不足や各種医療制度の見直しなどに加え、新型インフルエンザへの対策など、多くの課題に直面する中、新たな医療政策への取り組みが始まろうとしています。

こうした環境の下、当社グループでは、コアビジネスである臨床検査事業において、新規取引先拡大に努め、期初計画を上回る売上を達成いたしました。

検査項目別には、生化学検査や病理細胞診検査が伸びたほか、癌遺伝子検査なども大きく成長してきています。

一方、戦略的事業と位置づける医療情報システム事業につきましては、診療所向け電子カルテ(メディカル・ステーション)の販売に関して、ほぼ計画通りに推移しました。また本年11月、調剤薬局向けシステムの大手企業である株式会社EMシステムズと診療所向け電子カルテを共同開発する合弁会社を設立することで合意いたしました。設立後は、機能と価格を抑えた新商品を開発し、商品ラインナップの拡充を図ってまいります。

利益面では、臨床検査事業において、受託価格の安定や期初の想定を上回る検査数量の増加により、大幅な増益となりました。

さて、BMLグループでは、売上高1,000億円を長期ビジョンとして掲げており、その実現のため3年ごとに中期経営計画を策定・実施しております。この度、第3次中期経営計画の終了に伴い、2012年3月期を最終年度とする第4次中期経営計画『BML ADVANCE-2012』を策定いたしました。

この『BML ADVANCE-2012』では、次の3年間で売上高1,000億円を実現するに相応しい企業体質の構築、即ち人材育成、システム全体の再構築を含めたBMLグループの更なる成長の礎を築くインフラ整備の期間と位置づけるとともに、各事業戦略を着実に推進し、事業基盤の再構築と持続的成長を目指していく所存です。

株主のみなさまには、当社に対する一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

【当第2四半期の概況】

医療業界は、国民医療費が高齢化の進行や医療技術の進歩を背景に過去最高を更新する中で、医療の品質向上や効率化に向けた各種制度改革が実施されています。

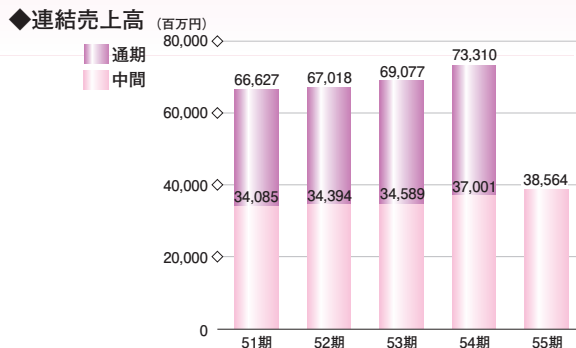
当期の受託臨床検査業界は、2年ごとに実施されている診療報酬改定の年度には当たらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引き下げがなかったことから、受託価格は安定して推移しました。一方、2008年4月に始まった特定健診については、受診率が目標を大きく下回りました。

【事業部門別の経営概況】

検査事業

臨床検査事業では、引き続きクリニック市場に重点を置いた営業展開を図るとともに、大型施設へのFMS*/ブランチャラボ方式*による提案営業により、事業基盤の拡大を図りました。こうしたことから検査数量は順調に増加し、売上高は4.3%の増収となりました。また、利益面においても、増収と数量効果により、売上総利益率が改善しました。更に、前期にBML総合研究所にて完成した自動分注の新システム(新フロンティア)の本格稼働により、一部検査項目で結果報告時間の短縮化を図ることができました。

その他検査事業では、(株)BMLフード・サイエンスが、景気悪化によるクライアント企業の経費絞り込みの影響等により、食品衛生コンサルティングを中心に受託が減少しました。なお、昨年9月に買収した食品衛生事業を営む(株)キュー・アンド・シーが連結対象子会社に加わったため、事業部門全体の売上高は、微増収となっています。



※FMS方式：検査機器・システムなどの賃貸と運営支援
※ブランチャラボ方式：院内検査室の運営受託

医療情報システム事業

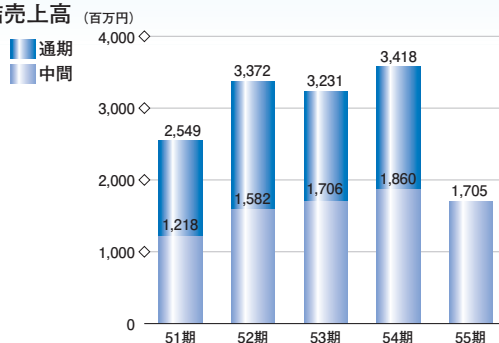
医療情報システム事業では、診療所版電子カルテ「メディカルステーション(MS)」の販促活動に関して、組織改編により臨床検査事業と医療情報システム事業が一体となった営業活動を展開しました。

また、売上高については、前年同期に比べ、リプレース対象施設が減少したことなどから、8.3%の減収となりました。

一方、同事業の損益については、前期からの黒字基調を維持しています。



◆連結売上高



その他事業

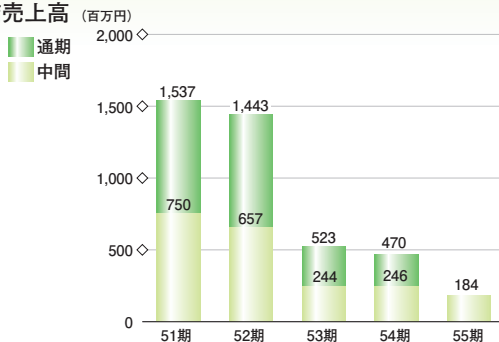
その他事業では、SMO*/CRO*事業を営む(株)アレグロが、前期の落ち込み後回復が鈍く受託が低調に推移し、25%の減収となりました。

※SMO：特定の医療機関(治験実施施設)と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関

※CRO：医薬品の開発において、製薬メーカーが行う治験に関わる様々な業務のすべてまたは一部を代行・支援する機関



◆連結売上高



株主様アンケート集計結果のご報告

2009年6月発送の第54期報告書に同封の「株主様アンケート」におきまして、638名の株主のみならずよりご回答をお送りいただきました。

この場をお借りしましてお礼を申し上げますとともに、アンケート結果の主な項目につきまして、ご報告申し上げます。

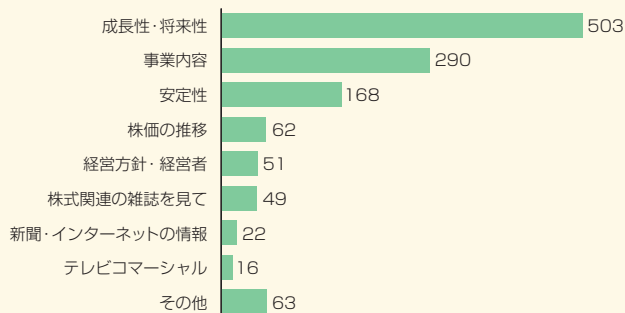
みなさまからいただきました貴重な「ご意見・ご要望」は、今後のIR活動の参考にさせていただきたいと存じます。

なお、ご回答をお送りいただきましたみなさまの中から、抽選で200名の方に「クオカード」を送付させていただきました。
(当選者につきましては、発送をもってかえさせていただきますので、ご了承ください。)

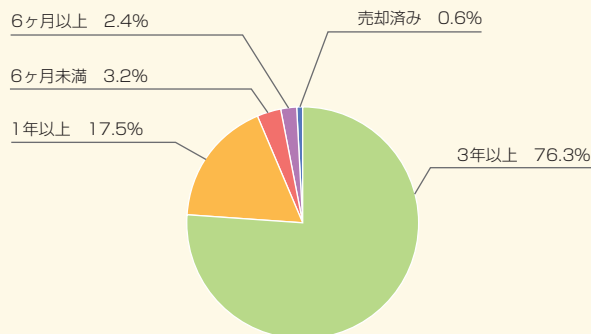


当社株式について

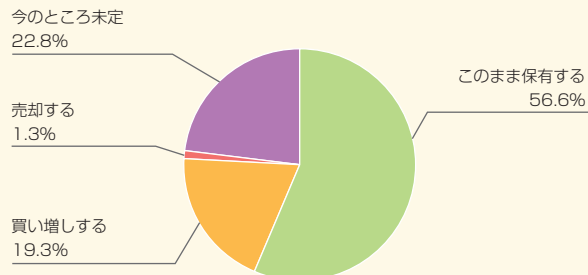
■当社株式をご購入いただいたポイントは何でしょうか？ (複数回答)



■当社株式の保有期間を教えてください。



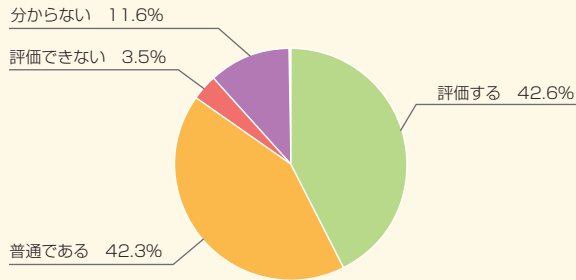
■今後、当社株式に対してどのような方針をお持ちでしょうか？



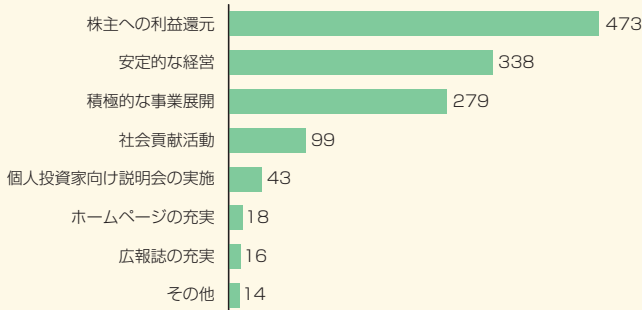
故 荒井元義会長 「お別れの会」が開かれました。

経営についての評価/要望

■当社の経営に対する評価をお聞かせください。

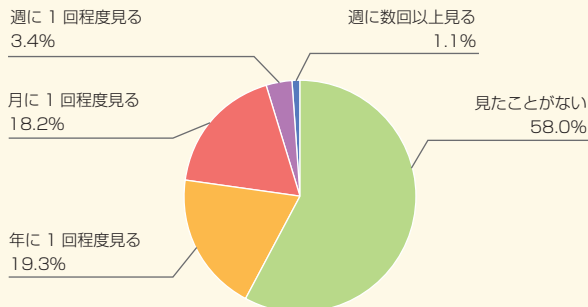


■今後、当社に対してどのようなことを望まれますか？
(複数回答)



ホームページの利用頻度

■当社ホームページはご覧いただいていますか？



2009年5月17日に逝去(享年70歳)いたしました当社代表取締役会長 荒井元義を偲ぶ「お別れの会」が、同年7月9日に東京・内幸町の帝国ホテル(孔雀の間)にてしめやかに執り行われました。

当日は、医療機関、企業、団体など臨床検査業界の関係者を含めて総勢1,000名を超える方々が参列され、最後の別れを惜しみました。



思い出の写真パネル



献花会場

連結財務諸表

● 連結子会社一覧

		資本金 (千円)		資本金 (千円)	
株式会社	BMLライフサイエンス・ホールディングス	100,000	株式会社	ピーシーエルジャパン	20,000
株式会社	BMLフード・サイエンス	100,000	株式会社	東京公衆衛生研究所	20,000
株式会社	オー・ビー・エル	98,000	株式会社	愛媛メディカルラボラトリー	20,000
株式会社	ラボテック (千葉県市原市)	95,000	株式会社	ジャパンクリニカルサービス	20,000
微研	株式会社	90,000	株式会社	メリッツサポートシステムズ	20,000
株式会社	協同医学研究所	60,000	株式会社	第一臨床検査センター	10,000
株式会社	メリッツ	30,000	株式会社	第一臨床医学検査センター	10,000
株式会社	アレグロ	30,000	株式会社	盛岡臨床検査センター	10,000
株式会社	松戸メディカルラボラトリー	30,000	株式会社	ラボテック (長崎県佐世保市)	10,000
株式会社	日研医学	25,000	株式会社	キュー・アンド・シー	10,000

● 四半期連結貸借対照表 (9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末	前第2四半期末
資産の部		
流動資産	32,514	29,874
現金及び預金	14,667	12,215
受取手形及び売掛金	14,522	14,628
たな卸資産	1,707	1,443
その他	1,681	1,655
貸倒引当金	△64	△69
固定資産	33,086	31,914
有形固定資産	25,963	24,594
建物及び構築物	9,896	9,662
土地	10,804	10,500
その他	5,263	4,430
無形固定資産	3,276	3,690
投資その他の資産	3,845	3,629
その他	3,919	3,835
貸倒引当金	△73	△205
資産合計	65,600	61,788

科目	当第2四半期末	前第2四半期末
負債の部		
流動負債	17,622	17,682
支払手形及び買掛金	8,933	8,681
短期借入金	946	1,356
未払法人税等	1,796	1,536
その他	5,945	6,108
固定負債	4,699	3,829
退職給付引当金	3,287	2,949
その他	1,412	880
負債合計	22,321	21,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	31,032	28,239
自己株式	△1,264	△1,268
株主資本合計	42,460	39,663
評価・換算差額等	118	63
新株予約権	39	25
少数株主持分	659	523
純資産合計	43,278	40,275
負債純資産合計	65,600	61,788

● 四半期連結損益計算書 (4月1日から9月30日まで) (単位:百万円)

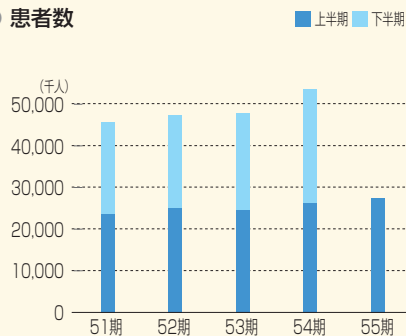
科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
売上高	40,454	39,108
売上原価	25,031	24,301
売上総利益	15,423	14,807
販売費及び一般管理費	11,406	11,571
営業利益	4,017	3,235
営業外収益	148	177
営業外費用	32	29
経常利益	4,132	3,384
特別利益	20	19
特別損失	232	111
税金等調整前四半期純利益	3,921	3,292
法人税、住民税及び事業税	1,809	1,574
法人税等調整額	△21	△35
少数株主利益	78	57
四半期純利益	2,054	1,695

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (4月1日から9月30日まで) (単位:百万円)

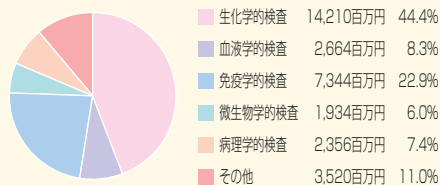
科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,942	3,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,836	△3,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485	△591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,620	△229
現金及び現金同等物の期首残高	11,325	11,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,946	11,556

● 臨床検査事業データ (個別)

● 患者数

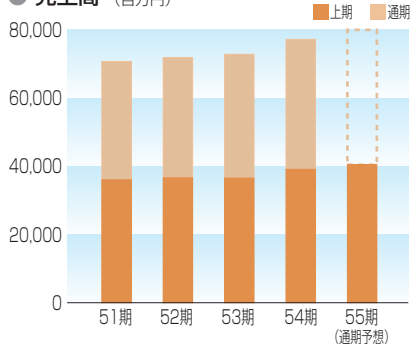


● 検査主体別売上高構成

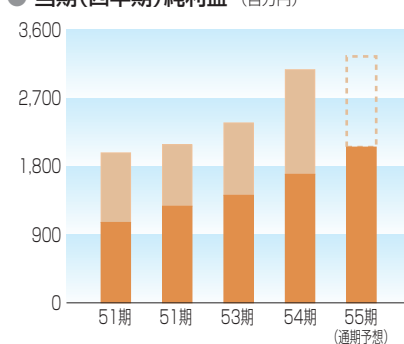


財務ハイライト(連結)

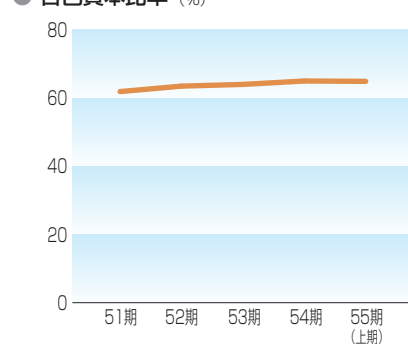
● 売上高 (百万円)



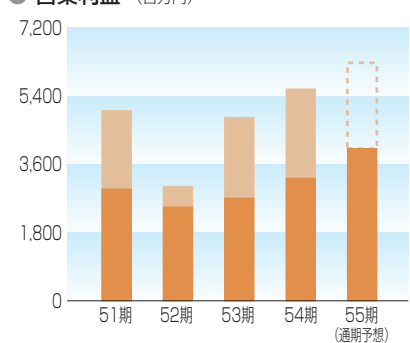
● 当期(四半期)純利益 (百万円)



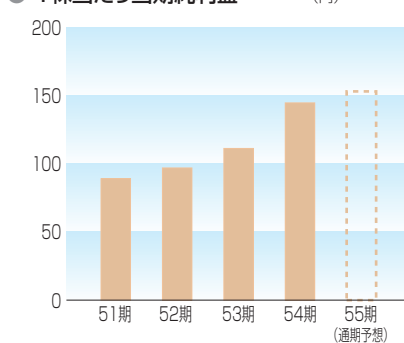
● 自己資本比率 (%)



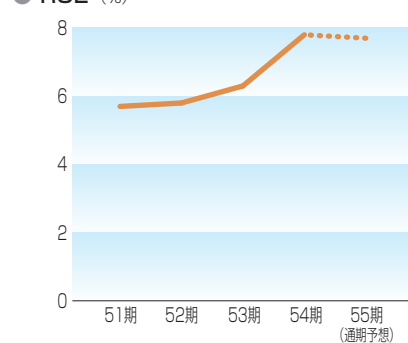
● 営業利益 (百万円)



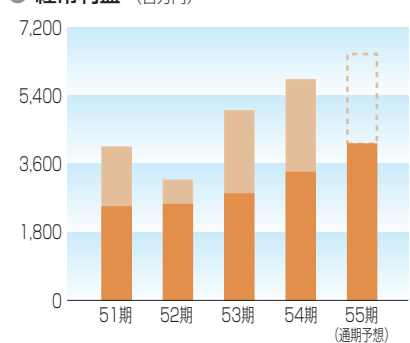
● 1株当たり当期純利益 (円)



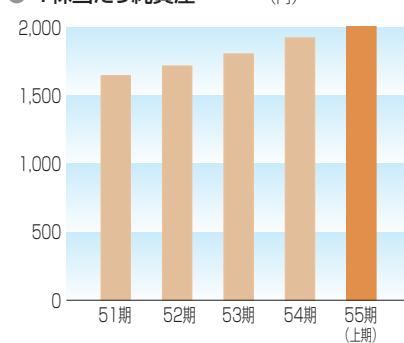
● ROE (%)



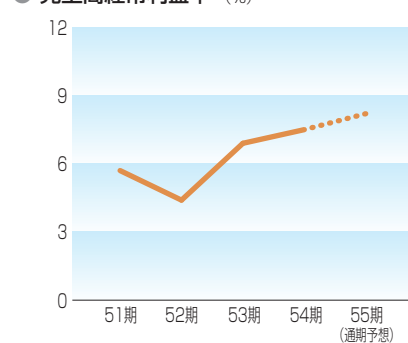
● 経常利益 (百万円)



● 1株当たり純資産 (円)



● 売上高経常利益率 (%)



株式の状況及び会社概要

株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行済株式数	22,007,363株
1単元の株式数	100株
株主数	3,542名

会社概要

株式会社ビー・エム・エル

本 社 〒151-0051
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
 TEL: 03-3350-0111(代表)
 URL: <http://www.bml.co.jp/>

BML総合研究所

〒350-1101
 埼玉県川越市の場1361-1
 TEL: 049-232-3131(代表)

設 立 1955年7月
 資 本 金 60億45百万円
 従 業 員 数 2,948名(連結) 1,583名(単独)
 事 業 内 容 臨床検査の受託業務等

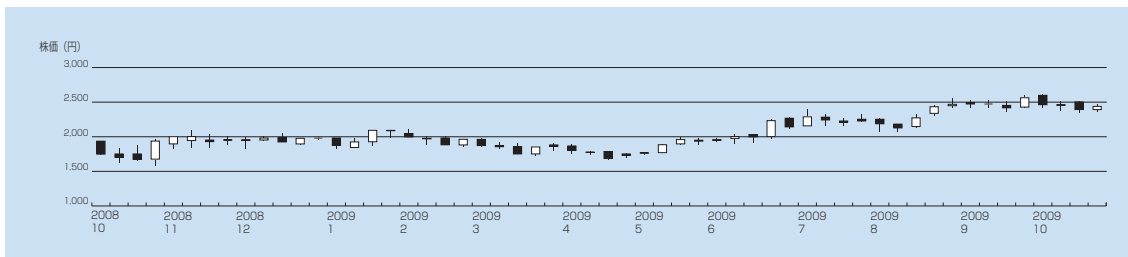
役員及び執行役員

代表取締役最高顧問	近藤 健次	社 長*	荒井 裕
代表取締役社長	荒井 裕	専務執行役員*	福田 和太
取 締 役	福田 和太	常務執行役員*	是安 俊之
取 締 役	是安 俊之	常務執行役員*	大塚 敬
取 締 役	大塚 敬	常務執行役員*	荒井 信貴
取 締 役	荒井 信貴	執 行 役 員*	近藤 健介
取 締 役	近藤 健介	執 行 役 員*	中村 貞博
取 締 役	中村 貞博	執 行 役 員*	田中 実
取 締 役	田中 実	執 行 役 員*	田邊 弘
取 締 役	田邊 弘	執 行 役 員	工藤 康之
取 締 役	稲永 勉	執 行 役 員	山下 勝司
常勤監査役	西村 昌春	執 行 役 員	千喜良真人
監 査 役	山村 敏夫		
監 査 役	齋藤 敏雄		

*社長及び取締役8名は、執行役員と兼務になります。

公告掲載URL <http://www.bml.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

株価チャート



株主メモ

決算期	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会権利行使株主確定	3月31日
	株主配当金受領株主確定	3月31日
	中間配当金受領株主確定	9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号（〒103-8202） 株主お手続き用紙のご請求をインターネットでもお受け付けいたしております。 URL http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html	

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

(電話お問合せ) 日本証券代行株式会社
郵便物送付先) 東京都江東区塩浜二丁目8番18号（〒137-8650）



株式会社ビー・エム・エル

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

この報告書は、再生紙を使用しています。